

展覧

名和 修「御堂関白記」

討議

〈第四回研究会〉

二〇一一年二月一七日

打ち合わせ

呉 海航「『翁同龢日記』からみた清末大臣の政治的運動

について」

堀井佳代子「儀式書における日記の利用―『西宮記』相撲

勘物の検討―」

二〇一一年二月一八日

多田伊織「地震・黒船・明治維新―幕末の若き漢方医学生

小島尚綱の日記『日新録』

上野勝之「古記録における宗教習俗の記載」

三橋 正「古記録の書写と活用―古記録文化を理解するた

めに―」

〈第五回研究会〉

二〇一二年二月一八日

打ち合わせ

加藤友康「平安貴族による日記利用の諸形態」

二〇一二年二月一九日

佐藤 信「出土した古代の曆史料をめぐって」

松田泰代「日本十進分類法における『日記』という言葉の

概念受容史」

基礎領域研究

韓国語運用の基礎／応用（継続）

代表者 松田利彦

概要 研究その他の業務で韓国語を必要とするものに対し、会話、読解、聴解の習得を目指した授業を行う。

近世風俗未公刊資料解説（継続）

代表者 早川聞多

概要 センター所蔵の近世風俗資料の解説および変体仮名の読解演習を行う。

古文書研究（継続）

代表者 笠谷和比古

概要 前近代の草書文字で記された古文書や日記・記録などの読解を行う。

フランス語運用の基礎／応用（継続）

代表者 稲賀繁美

概要 フランス語の運用の基礎を実践的に訓練し、あわせて必要に応じて論文講読、仏文論文作成の手ほどきをする。

比較日本文化研究基礎論（継続）

代表者 小松和彦

概要 比較論の立場から、日本文化を解明する上で重要な意味を持つ宗教の信仰形態、儀礼、美術、等の諸現象の分析を行い、日本人の精神構造のあり方を明らかにする。

文化論の基礎概念と方法（継続）

代表者 鈴木貞美

概要 日本文化に関する国際的、学際的研究法の基本につ

いて、とりわけ、基礎概念および概念編成について研究を行う。

中国語運用の基礎／応用（継続）

代表者 郭 南燕

概要 研究その他の業務で中国語を必要とする人に対して、中国語運用の基礎を実践的に訓練し、会話、読解、聴解の習得を目的とする。

日本宗教史基礎研究（継続）

代表者 末木文美士

概要 日本宗教史に関する基礎的な問題に関して討議し、必要に応じて重要な文献の講読を行う。